

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、2014年1月1日～2022年12月31日に当院にて、心臓カテーテル検査時に冠動脈プラークの評価を行った虚血性心疾患患者さんを対象として、石灰化結節を有する冠動脈硬化の特徴と最適な治療戦略を明らかにするために研究を行っております。本研究の対象者に該当する可能性がある方で、この研究の内容を詳しく知りたい方や、診療情報等を下記の研究に利用されることをご希望されない場合は、末尾に記載しました【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。情報の登録が終了し、解析を開始した後に協力取り消しを申し出られた場合は、本研究への協力を取り消すことができなくなります。なお、本研究への協力を拒否されても、今後の治療を受ける上で不利益が生じることはありません。

【研究課題名】冠動脈プラークにおける石灰化結節（Calcified nodules）の特徴及び至適治療戦略の検討

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 循環器・呼吸器・腎高血圧内科

【研究責任者】 山口 修

【研究の目的】

当院で心臓カテーテル検査や経皮的冠動脈形成術を受けられた虚血性心疾患患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、石灰化結節を有する冠動脈硬化の実態調査及び予後を検討する。

本研究の結果は、冠動脈に石灰化結節を有する虚血性心疾患患者の最適な治療戦略の構築に寄与できるものと考えております。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2014年1月1日から2022年12月31日に愛媛大学医学部附属病院で、心臓カテーテル検査時に冠動脈プラークの評価を行った虚血性心疾患患者さん

（利用するカルテ情報）性別、年齢、基礎心疾患、合併症、既往歴、身体所見、

血液検査データ、画像検査データ、治療状況、転帰 等

【共同研究について】

この研究は、当院で解析を行います。あなたのデータが外部に送られることはありません。あなたの情報を含む多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院 循環器・呼吸器・腎高血圧内科 上谷 晃由

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5303